

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	中島農園×日本の台所
取組	農業・お茶・お酒・料理に携わるメンバーそれぞれの知識をウェブマガジンにまとめる。同時に年間数回の食イベントを行いながら、農や食、家庭料理の大切さを伝えていく。子供から大人まで、より簡単で美味しく楽しい料理方の提案を行う。
構成員数	中島農園 11 名（内女性 8 名）、日本の台所メンバー 4 名（内女性 2 名） 令和 4 年 5 月現在

1 事業実施方針

<p>「本事業を実施する背景」 家庭で作る料理には、家族の健康だけでなく、心を育む様々な要素が含まれています。大切な人を想いながら作った料理には、その人の心を強く優しく育ててくれます。また、地域で守り継いできた郷土料理を次世代へ伝える役割も担っています。心身ともに健康であるには愛情のこもった手作り料理が欠かせません。</p> <p>「本事業で解決しようとする事項」 夫婦共働きが当たり前ようになった現代では、家庭料理を毎日作ることは困難だと思われがちですが、同じように共働きが当たり前であった農業女性が農繁期であっても家庭料理を欠かさず、何十年も前から作り続けてきた工夫があります。また、若者世代にも好評の味付けで、主に野菜を使った簡単で美味しいレシピを提案されている女性料理人と女性農業者が共にレシピを開発し、どんなに忙しい環境であっても、家庭料理を楽しく作れるアイデアの詰まったウェブマガジンを発行します。</p> <p>「産地として将来の姿まで含めた事業の全体方針について」 また、私が栽培する野菜は主に業務用のイタリア野菜やハーブなど特殊なものが多いのですが、これらの野菜は栄養価が高く、野菜自体の味も美味しいものが多いです。一般普及できれば地域の特産野菜にもなり得る野菜ですが、特殊野菜のレシピは少なく、インターネットにも載っていない生産者ならではの美味しいレシピは沢山あります。 ウェブマガジンではこのような特殊野菜レシピも掲載予定です。また、今回製作するデータを野菜毎に抜粋し印刷したものを特殊野菜販売時などに広報として活用予定です。 女性が新規に農業を始めるにはまだ抵抗を感じる方が多いですが、彼女たちのレシピや活躍をウェブマガジンを通して、多くの方に知ってもらい、農業の魅力向上に努めていきます。 また、地域女性との寄り合いにてレシピの試食会を開催し、地域女性との繋がりをより深めていきたいと計画しています。</p> <p>「事業方針」 日本の台所と中島農園では、地域を作る一つ一つの家庭が暖かなものになることが、安心安全な地域コミュニティを維持することに繋がると考えています。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性就農環境改善に向けた実施体制

- ・料理や農業環境などの写真撮影担当
- ・料理法は料理人と中島農園所属の農業女性にて考案。
- ・料理に合わせるお飲み物の提案担当。
- ・ウェブマガジンデータの校正は業者に委託

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

## 3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

### (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みのない特殊野菜の栽培方法、販売の工夫、料理法の提案を行う</li> <li>・高校生への農業体験授業受け入れ</li> <li>・おづつみ園でのお茶摘み体験</li> </ul>	<p>随時</p> <p>年間10回 開催</p> <p>毎年5月に10回程度</p>	<p>イベントやウェブなどで提案する実際の料理から農業環境に興味を持ってもらい、家庭の台所を支えている女性農業者の魅力を向上させる。</p>
<p>(今後の取組)</p> <p>1)新規就農者の研修・体験受け入れ継続</p> <p>2)女性農業者活躍の情報発信(情報発信媒体(SNS・ウェブマガジン・マルシェ・イベントなど)ウェブマガジンではお茶や・料理などカテゴリー毎にわけ、グーグルドライブにリンクを作り、SNSや新聞社などに情報提供し拡げてもらう。メンバーそれぞれの会社でお客様へ対して情報提供する。子供食堂経営など貧困問題をサポートしている団体などへは印刷したものを団体通じて子供達に配布する。</p> <p>3)地域関係機関(農協・行政)との情報交換・求人協力依頼</p>	<p>1)年間2人(目標)</p> <p>2)SNS週1回以上更新</p> <p>ウェブマガジン発行 2022年度末</p> <p>3)毎年、随時(目標)</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添

付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1)大人の食育イベント日本の台所開催 (ペアリングディナーを通して農業環境や家庭料理の重要性を体感していただくためのイベント)</p> <p>2)イベント開催予定地での勉強会にて現地の方々とのネットワーク構築</p>	<p>1) 実施 2021 年 10 月 継続させるための収支は少人数でのイベントは難しい結果となった。このため参加費以外の収入で支出を補う必要があることがわかった。</p> <p>2)2021 年 10 月 翌年 2022 年 4 月に開催予定であったホテルに宿泊。現地スタッフの方々が求める情報を収集。</p>	<p>コロナ感染拡大によりイベントは中止</p>
<p>(今後の取組)</p> <p>1)イベントの定期開催</p> <p>2)農業女子と料理人とのレシピ考案会を実施 試食会を設け、地域女性との交流をより深める場を作る。</p> <p>3)一般野菜から郷土野菜やイタリア野菜を用いたレシピ開発</p> <p>4)ウェブマガジン発行</p>	<p>1)年間 4 回実施 (目標)</p> <p>2)月間 2 回程度 (目標)</p> <p>3)2022 年 10 月まで (目標)</p> <p>4)2022 年度末までに</p>	<p>ウェブマガジン発行のためのレシピ考案会や寄り合いでの試食会にて、女性農業者に地域の方々と深いつながりを作る。</p>

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>1) 冊子の PR に合わせて、女性農業者や食に携わる方々の活躍を新聞やマスメディア、行政を通じて、多くの方に知ってもらう。</p>	<p>1)2022 年度末までに発行</p>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

#### 4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

##### (2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	共働き世帯が多く、時間がないため自宅で料理を作る家庭が少なくなっている
②	家庭での食事の時間を楽しむ人が少なくなったため、日本人の健康に欠かせない急須で入れたお茶を飲む人が減っている
③	家庭料理が衰退することにより、地域で守られてきた伝統料理が作られなくなり、同時に伝統野菜の栽培も販路がなくなってしまう。
④	女性農業者は畑で余った様々な食材を上手に利用できるが、それを知らせる機会がない。

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	短時間でも美味しい料理を作るコツを女性料理人が提案
②	家庭でのお茶やお酒の楽しみ方をそれぞれのプロが提案
③	伝統野菜から特殊野菜など普段使わない野菜を美味しい料理法を提案し多くの家庭で使えるよう提案する
④	女性農業者の野菜料理の知識を一般の方にも知ってもらい、女性農業者に対するイメージを向上させる
	1～4をウェブマガジンに纏め、より多くの家庭に情報を提供する。

###### 【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	家庭料理が増え、家族の時間が増えることで家庭環境がより良いものとなる。
②	自宅でも食を楽しもうとする環境が生まれる。
③	伝統を守り、地域産業を下支えする。

⑤	女性農業者に対する偏見がなくなり、一般的な業種と同じように農業という職業を選択してもらう。新規女性農業者雇用5人目標とする。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①～②	2022.7月～12月	日本の台所でのペアリングディナーイベント		
①～④	2022.11月末	レシピ開発 ウェブマガジンデータ編集	消耗品費・役務費 462,750円	
④	2022.7月～12月	女性農業者の求人随時		

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5人
（新規確保女性農業者の内訳） 自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア 3人	

（注） 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。